

令和7年度  
二戸市立福岡中学校  
学校だより  
第4号

# 永遠の躍進

発行日 R7. 7. 1  
発行者 校長 中野 善文  
二戸市福岡字下川又22-1  
Tel 23-3325

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

## 福中旋風！巻き起こる！！

### 7種目優勝 4種目準優勝 1種目3位

6月14・15日の2日間にわたって開催された二戸地区中学校体育大会において、各会場で「福中旋風」が巻き起こりました。7種目優勝、4種目準優勝、1種目3位と素晴らしい成績を収めました。

選手一人一人の頑張りを讃えるとともに、指導して下さった先生・コーチ、応援して下さい家族・地域の皆様に感謝を申し上げます。この後も、各種大会（5日：県通信陸上、6日：県北地区吹奏楽コンクール、12・13日/19・20・21日：県中総体）が控えています。これまでの練習と自分の力を信じて持てる力を出し切ることを、それぞれの目標を達成することを期待しています。巻き起こせ！福中旋風！！



野球 男子バレー 男子卓球 男子テニス  
女子卓球 女子柔道 女子剣道



サッカー 男子剣道  
男子柔道 女子テニス



女子バレー  
(一戸中合同)

<個人の部> ★ ★ ★ ★ ★

1位 吉澤夏月（剣道）、田中柑菜・浪岡美桜（テニス）

小野寺理子、千葉柚花、栗原春花、向久保笑迦（柔道）

2位 和山龍雅（卓球）、小笠原虎大朗、泉山諒、田村悠士、石倉涼（柔道）

3位 夏井伸次郎、田口望、柳林由惺、浪岡凜乃（卓球） 橙澤ひいら、泉山央都（剣道）

小野寺那直・野尻航希、高山陽輝・上山和大（テニス）



## 中総体後記 ～勝ち負け以上に大切にしたい部活動の意義～

勝ち負けがすべてではない。このことを、素直に受け入れることは難しいかもしれませんが。県大会出場をかけた大会となれば、勝ち負けが重要になります。しかし、勝者の陰には必ず敗者がいるのも世の常です。負けたことをいつまでも引きずってはいは、次のチャレンジができません。まずは、自分の頑張りと自分を支えてくれた仲間や家族の存在を大事にしてほしいと思います。

かくいうわたしも、何度も負けて何度も涙を流したことがあります。そのたびに悔しさがこみ上げるのですが、必ず自分と一緒に頑張った仲間や支えてくれた方々がいて、より一層絆を深められました。そして、今改めて思うのです。それまで取り組んだ経験と自信が、今の自分をつくっているのだと。みなさんは、これからたくさんの挑戦ができます。成功も失敗も含めて、多くのことを経験し学んでほしいと思います。最後に元プロバスケットボール選手で「バスケットボールの神様」と呼ばれたマイケルジョーダン氏の言葉を紹介します。

「私はキャリアを通じて 9000 回以上シュートを外し、300 試合に敗れ、決勝シュートを任ざられて 26 回も外しています。人生で何度も何度も失敗したからこそ、今の成功があるのです」



## ちょっと立ち止まって考えてみよう！

次の図1・図2は何に見えるでしょう？ 全校朝会（6月26日） 校長講話より

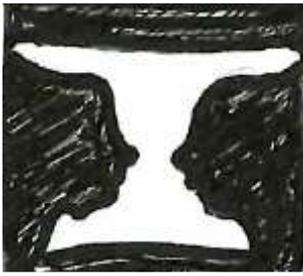


図1



図2

一度見えたもの  
感じたこと  
なかなか消えない  
変わらない

見方を変えてみる  
(中心・距離・角度)  
意識して捨てる

### 違った見方・考え方

うざい	変わって 見えたとき	勉強
心配してる アドバイス 親心	考え方 生き方 幅広がる	思考・判断 だまされない 解決する力

この話は、光村図書の教科書にある「ちょっと立ち止まって」という説明文をもとにしています。図の絵には、著作権の心配があることから手書きにしました。実物は、インターネットで検索してください。

図1は、①優勝カップ ②向かい合った二人の顔に見えるだまし絵です。どちらかが見えないときには、中心に見ている色(白⇄黒)を変えて見ると良いでしょう。

図2は、①反対を向いた若い娘、②毛皮のコートにあごをうずめた老婆が描かれています。図1と同様に、中心に見るものを変えたり、角度や距離を変えて見たり、今見えているものを意識して捨て去ると見えるようになります。

どうでしょう、実感できたでしょうか。

この絵の見方から、校長は皆さんに何を言いたいのでしょうか？推論してください。

生徒会長の亮賀さんが挙手をして、見事言い当てました。

わたしたちは、一度見えた見方や感じ方を、他の人から「〇〇に見える」と言われるまで、自分の見方を変えたり、他の見方を試そうとしません。

他の見方をするためには、上述したように中心に見るものを変えたり、距離や角度を変えたり、ときには意識して捨てることも必要です。

親や先生を「うざい」と感じるあなた。見方を「心配している」「アドバイス」と変えてみたらどうでしょう。勉強が嫌いなあなた。だまされない、解決する力がつくと考えてみてはどうでしょう。

違った見方・考え方をできるようになると、おそらく皆さんの生き方の幅も広がると思うのです。